

ひろしまけん 交通指導員だより

2023.11・12
第60号

発行・編集

広島県環境県民局
県民活動課
(交通安全対策室)

〒730-8511
広島市中区基町10-52
TEL 082 (513) 2723
FAX 082 (227) 2549

2023年度交通指導員研修会を開催しました！

- 日時：令和5年10月26日（木） 13:30～15:30
- 場所：広島県東広島庁舎会議棟会議室
- 参加者：各市町、交通安全協会の交通指導員等55名
- 主催：広島県・（公財）広島県交通安全協会



研修会では、まず、東広島警察署交通課の係長に『～交通事故の情勢等について～』と題して講義をしていただきました。講義の中では、「信号のない横断歩道では手をあげるなどしてドライバーに横断歩道を渡るという意思表示をすることが大切」、「体調が悪いときは車の運転を控える」、「子供たちの安全を確保することはもちろんですが、子供たちの見守り活動をする皆さん自身の安全を確保することも大切である」などの説明がありました。



次に、本田技研工業株式会社安全運転普及本部の西條講師をお招きし、『～幼児から高齢者までの交通安全教育指導について～』と題して講義をしていただきました。講義の中では、パワーポイントを活用して参加者に2枚の画像を見てもらいながら、「違い探し」を行ったり、幼児向けの「できるにゃん体操」などを実際に参加者にも体験していただきました。西條講師からは、「交通安全指導は、継続的な指導が重要です」とアドバイスをいただきました。



～全国47都道府県の自転車乗車時のヘルメット着用率の調査が行われました～

今年4月に着用が努力義務化された自転車用のヘルメットについて、警察庁が全国の「自転車乗車時のヘルメット着用率」の調査（7月実施）を行い、9月に結果を公表しました。

全国平均は13.5%となり、着用率が最も高かったのは愛媛県で59.9%、最も低かったのは新潟県で2.4%と地域ごとの差が大きく開く結果となりました。

そんな中、**広島県の着用率は6.6%**で、47都道府県中39位と全国的に見てもかなり低い順位となっています。

自転車乗車中の交通事故で亡くなった人の、約6割が頭部に致命傷を負っています。また、自転車乗車中の交通事故において、ヘルメットを着用していなかった人の致死率は、着用していた人に比べて、約2.1倍と高くなっています。

交通事故の被害を軽減するためには、頭部を守ることがとても重要です。自転車を利用するときは、自転車乗車用ヘルメットを着用し、自分の身を守りましょう。



令和5年広島県交通安全年間スローガン「運転は ゆとりとマナーの 二刀流」

年末交通事故防止県民総ぐるみ運動

◆実施期間

令和5年12月1日（金）～10日（日）

◆運動重点

○歩行者の安全な通行の確保

- ・ 歩行者も信号無視をしないなど、交通ルールを守りましょう。
- ・ 横断歩道を渡る時は、運転者に手を上げるなどのサインを送って横断する意思を伝えましょう。

○高齢運転者及び二輪車運転者の交通事故防止

- ・ 通り慣れ道路でも油断せず、安全をしっかり確認しましょう。
- ・ 運転操作は慌てず、落ち着いて確実にいきましょう。
- ・ ヘルメットを正しく着用し、プロテクターの着用により、被害軽減を図りましょう。

○飲酒運転等の根絶

- ・ 飲酒運転やあおり運転は、重大な交通事故に結びつく悪質、危険な犯罪です。
- ・ お酒を飲んだら絶対に車を運転しない。

○自転車の安全利用の推進

- ・ 全ての自転車利用者は、ヘルメットを着用しましょう。
- ・ 「自転車安全利用五則」を守りましょう。
- ・ 万一の事故に備えて、自転車保険に必ず加入しましょう。



自転車を利用するときは、ヘルメットを着用しようね！



夕暮れ・夜間の交通事故防止について

- ★ 夕暮れ時や夜間は、急激にモノが見えにくくなるため、意識して「見る」とことと、自分を「見てもらう」工夫が必要になります。
- ライトを早めに点灯したり、反射材用品を活用して、自分の存在を周囲にアピールし、事故の危険を防ぎましょう。

ドライバーのみなさん

「歩行者はこちらを見ているだろう」と思っても、実は見ていないかもしれません。

★夜は、上向きライトを活用して広い視界を！（こまめな切り替えを）

★特に、右側から横断してくる歩行者に注意を！

自転車利用者のみなさん

できるだけ早く気づいてもらうため、早めにライトを点灯し、周囲に自分の存在をアピールしましょう。

★タイヤの側面にも反射材を！

★コンビニなどに入出入りする車にも注意を！

歩行者のみなさん

自分には車が見えていても車の運転者がこちらに気づいているとは限りません。

★反射材やLEDライトで自分の存在をアピールしましょう。



■夜間、車から歩行者が見える距離

(視認距離は実験により異なる場合があります)

